

患者へ服薬指導を行い相互作用による吸収低下を回避

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は服薬指導時に患者より聴取した情報を元にしたプレアボイド報告を紹介いたします。

患者背景

Aさん

- ▶糖尿病治療中の患者
- ▶酸化マグネシウム錠を1日3回朝・昼・夕食後に服用し、排便コントロール中
- ▶貧血に対してクエン酸第一鉄錠が1日1回朝食後で開始



薬剤師が薬剤管理指導に訪室

患者 Aさん



クエン酸第一鉄は、鉄を補うことで貧血を改善してくれるお薬です。



今日から始まった薬だね。
朝に飲んだよ。

鉄剤には飲み合わせに注意が必要な薬があるのですが、酸化マグネシウムは毎日飲まれていますか？



ああ、便秘の薬？自分で調節するように言われてるけど飲まないとおんげん、毎日朝昼夕で飲みよるよ。一緒に飲んだらいかんの？

患者へ提案

一緒に飲むと鉄剤の吸収が落ちてしまうことがあります。
Aさん、酸化マグネシウムと鉄剤を飲む時間を2時間ほどずらすことはできそうですか？



飲む時間をずらしたら大丈夫なんやね！
鉄剤は朝に飲むだけだから、2時間あけられると思う。

服薬指導時に併用注意の薬剤の服用タイミングをずらすよう指導することで、適切な薬物療法に貢献できた。